

上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）の説明書・同意書（検査予定日： 年 月 日）

1. 検査の目的

上部消化管内視鏡検査は食道、胃、十二指腸の中を直接内視鏡で観察し、胃炎、潰瘍、癌などの病気を発見し適切な治療につなげます。

2. 検査前の注意

バイアスピリン、プラビックス、イグザレルト、プラザキサ、リクシアナ、ワーファリン等血液が固まりにくくなる薬を服用している方は事前に申し出てください。検査中に病変が見つかった場合、必要に応じて組織の一部を採取し、細胞の検査を行います（生検）。記内服薬を服用している場合は、生検が出来ない場合があります。

3. 検査・治療の具体的方法.

- ①胃の中の泡を消す薬を服用し、その後、喉または鼻の麻酔を行います。
- ②内視鏡を口または鼻から挿入し、食道、胃、十二指腸を観察し、病変の有無を確認します。
- ③病変を認めた場合には、病変の一部を採取して、顕微鏡で良性悪性の判定をします（生検検査）。

※経鼻内視鏡を用いた検査は鼻腔が狭いときには挿入が不可能な場合があります、状況によっては経口内視鏡への変更や、検査日を変更することがあります。

4. 上部消化管内視鏡検査による危険性（合併症）

検査前や検査時に使用する薬剤（喉の麻酔や胃の動きを抑える薬、鎮静剤など）によりアレルギー反応、気分不良、呼吸抑制、ショックなどが起こることがあります。内視鏡の接触や生検により咽頭、食道、胃、十二指腸に穿孔（穴があくこと）、疼痛や出血、歯牙損傷、嘔吐反射による粘膜の損傷及び出血などが起こることがあります。万が一合併症が起きた場合は最善の処置（内視鏡による処置等）を行います。まれではありますが合併症によっては入院となり、輸血、緊急開腹手術、その他の治療が必要になることもあります。

5. 鎮静剤を使用した場合、鎮静後の注意事項

静脈麻酔を使用することで呼吸抑制・循環抑制が起こることがあります。合併症に対して迅速な対応ができるように血圧や酸素の状態を確認し注意しながら検査を行います。万が一合併症が起きた場合は迅速に対応させていただきます。目が覚めたあとも薬の影響が残ることがあり、眠気やふらつきが生じることがあるので、検査後 30-60 分程度病院で休んでいただく必要があります。当日は、自動車・バイク・自転車の運転や機器の操業はできません。 ※ご自分で車・自転車などを運転して来院された方には鎮静剤を使用できませんのでご注意ください。

6. その他

一旦同意されても検査が開始されるまでには同意を撤回することができます。質問・ご不明な点があれば検査までに医師・スタッフにお伝えください。費用は検査の内容によりませんが 4,000-12,000 円程度（3割負担）です。

私は上記内容について必要性と合併症の説明を受け理解した上で内視鏡検査をうけることに同意します。

鎮静剤を希望する

鎮静剤を希望しない

年 月 日

ご署名（本人）

家族または代理人のご署名（続柄： ）

上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）を受けられる方へ

【検査前日】

・前日の夕食は、消化の良いものでなるべく早く済ませ、遅くとも午後 11 時を過ぎたら食事の摂取は控えてください。

【検査当日】

- ・検査当日は 検査の 10 分前までに来院してください。
- ・糖尿病薬以外は継続して内服してください（事前に中止薬の指示があれば、その指示に従ってください）。

《持参するもの》

- ◇ 上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）の説明書・同意書
- ◇ 保険証またはマイナンバーカード
- ◇ 診療券（当院のものをお持ちの方）
- ◇ 入れ歯のある方は入れ物（専用容器又はビニール袋）
- ◇ お薬手帳

・検査が終わるまで、朝食などの食事は禁止です。朝の 8 時までは水・お茶・スポーツ飲料などの水分摂取は構いません。内服は必要性が高いものは午前 8 時までをお願いします。

- ・喫煙は胃の分泌物が多くなり、検査が行いにくくなるため当日は禁止です。
- ・体を締め付けない、ゆったりとした服装でご来院ください。

※抗凝固薬、抗血栓薬、糖尿病薬などの内服薬がある場合は、一旦中止いただくこともありますので、事前に医師に御相談ください。抗血栓が休薬できず出血のリスクが高い場合は生検での組織検査は行わず観察のみとなることがあります。

【検査後】

- ・検査後は、咽頭麻酔のため誤嚥の可能性がありますので 1 時間程度は飲食を控えてください。
- ・組織検査を行なった方は、食事等に関し検査後の指示に従ってください。
- ・胃カメラでは、胃に空気を入れて膨らませて検査するため、検査後もお腹が張ることがありますが、次第に空気が抜けて症状が通常に戻ります。
- ・経鼻の胃カメラを受けた方は検査後に鼻を強くかまないようにしてください。
- ・注射麻酔薬で眠って受ける胃カメラの方は検査当日の車やバイク、自転車などの運転は禁止となっています。家族のお迎えやバス・タクシー等でのお帰りをお願いします。

その他ご不明な点があればおしらせください。